

Gravioサービスメニュー

<b>Gravio Standard</b> 月額 ¥20,000 年額 ¥240,000	<b>Gravio Enterprise</b> 年額 ¥800,000
・無償貸出センサー：20個 ・Gravio Hub：1台 ・管理機能：なし ・ブロックチェーン：なし ・対応カメラ：USB、ONVIF (各Hubごとに1台) ・ソフトウェアセンサー：人物検知 ・登録可能顔ID数：なし ・同時利用AIモデル：なし ・学習済AIモデル：人数カウント、人物の性別および年齢層 (簡易版)	・無償貸出センサー：100個 ・Gravio Hub：4台 ・管理機能：あり ・ブロックチェーン：あり ・対応カメラ：USB、ONVIF (各Hubごとに1台) ・ソフトウェアセンサー：人物検知 ・登録可能顔ID数：なし ・同時利用AIモデル：なし ・学習済AIモデル：人物カウント、人物の性別および年齢層 (簡易版)
<b>Gravio Enterprise AI Edition Gold</b> 年額 ¥1,200,000	<b>Gravio Enterprise AI Edition Platinum</b> 年額 ¥1,600,000
・無償貸出センサー：100個 ・Gravio Hub：4台 ・管理機能：あり ・ブロックチェーン：あり ・対応カメラ：ONVIF、RTSP 最大8台 (専用PCが必要*) ・ソフトウェアセンサー：顔認証、人物検知 ・登録可能顔ID数：100ID (最大1,000ID) ・同時利用AIモデル：下記より2つ ・学習済AIモデル：顔認証 (必須)、人物の性別、年齢層、マスク着用有無、侵入検知、人数カウント、車両通過検知	・無償貸出センサー：100個 ・Gravio Hub：4台 ・管理機能：あり ・ブロックチェーン：あり ・対応カメラ：ONVIF、RTSP 最大8台 (専用PCが必要*) ・ソフトウェアセンサー：顔認証、人物検知 ・登録可能顔ID数：1,000ID (最大10,000ID) ・同時利用AIモデル：下記より4つ選択可能 ・学習済AIモデル：顔認証、人物の性別、年齢層、マスク着用有無、侵入検知、人数カウント、車両通過検知

※インテル®Core™ i5もしくはi7プロセッサ搭載のPCが必要

標準搭載AI	機能	AI Edition
×	顔認証	最大10,000ID
○ (顔、シルエットから検知)	人物検知 (人数)	○ (顔、シルエットから検知)
△ (簡易版)	人物推論 (性別、年齢層)	○
×	人の動き検知 (ゾーン侵入、徘徊検知、出入り数)	○
USB、ONVIF	接続カメラ形式	RTSP、ONVIF
1台～(Gravio Hub/HubKit搭載PCの性能に依存)	接続カメラ台数	8台 (各PCごと)
1チャンネル	同時推論可能チャンネル数	2チャンネル (Gold)、4チャンネル (Platinum)
低～中速 (外部TPUアクセラレーター利用可能)	推論速度	高速
エッジ	システムの設置場所	エッジ (顔認証用DBの設置はクラウド側も可)

動作条件 最新の動作条件は、当社ウェブサイトをご覧ください。 [ <https://www.gravio.com/jp/product> ]

Gravio Studio : Windows 10 1903 以降 macOS 10.15 以降	Gravio HubKit : Windows 10 1903 以降 macOS 10.15 以降 Ubuntu 1804 LTS
--	---

無償貸出 仕様につきましては当社ウェブサイトを参照ください。 [ <https://www.gravio.com/jp/product#Gravio-Rent> ]

<b>センサー</b> Gravio ディスタンスセンサー* (LiDAR採用距離センサー) クライメートセンサー (温度・湿度・大気圧) CO <sub>2</sub> センサー* 開閉センサー 人感センサー 振動センサー	ワイヤレススイッチ ワイヤレスダブルスイッチ	<b>警告灯・電光掲示板</b> Gravio LEDマトリックス* (16×16ピクセル、色変更可能) Gravioライト (4色、変更可能)
--	---------------------------	--

※Gravio Standard および Gravio Enterprise プランの契約者のみ無償貸出し可能となります。

PCを用意しなくても  
Gravioを簡単に導入!  
高性能インテリジェントエッジゲートウェイ  
**Gravio Hub** Gravioオリジナル



CPU: Rockchip RK3399 (6 core) RAM 4GB  
 ワイヤレスLAN (802.11a/ac/b/g/n)、Zigbee、Bluetooth搭載  
 内部ストレージ: 32GB eMMC/Ubuntu 1804  
 およびGravio HubKitプリインストール  
 サイズ: 幅97mm×奥行97mm×高さ29mm 重量: 135g  
 接続端子形状: USB-Cポート×1、拡張用ドックコネクタ同梱 (HDMI、USB-A接続など)  
 外付TPU (Tensor Processing Unit) に対応



AI搭載IoT統合エッジウェア

Gravio グラヴィオ  
Edge Integration Platform



アステリア株式会社

〒140-0014 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエアタワー19F  
 ☎0120-279-140 受付時間: 9:00~17:30 (土日祝日および年末年始を除く)  
<https://www.asteria.com/>

このカタログに記載された情報は2021年7月現在のものです。内容は予告なしに変更することがあります。  
 Asteriaはアステリア株式会社の登録商標です。その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。  
 ©2021 Asteria Corporation

お問い合わせ先:

<https://gravio.com/>

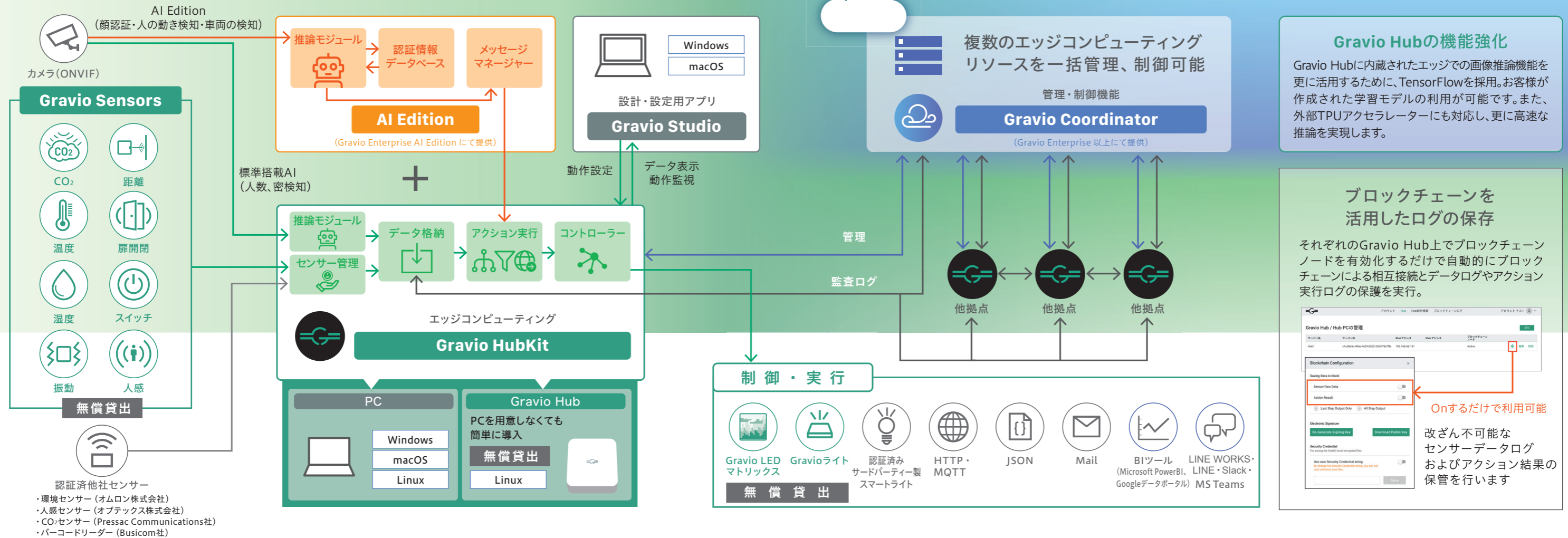
# 顔認証などの高度なAIとIoTの 統合利用をエッジで簡単に実現

Gravioは、汎用的なカメラや各種センサーなど、様々な入力デバイスとの連携を容易に実現できる、エッジコンピューティング型\*のIoT統合ソフトウェアです。直感的な画面設計によってノーコードで操作ができ、さらにAI画像推論を活用した人物検知にも利用できます。得られた情報に応じて、ライトの制御や管理者へのアラート通知、BIツールとの連携も可能です。各種認証済センサーの無償貸出プログラムもご用意し、導入の際の複雑性も解消。シンプルかつ迅速なIoTの利活用を実現します。

今回、新たにAIカメラを使ったマスク着用有無の検知やLiDAR技術を活用した距離センサー、ドット型LEDを活用した電光掲示板などのオリジナルデバイスを追加し、CARE (Cloud, Automation, Remote, Edge) 全域にわたる機能強化を実現いたしました。

\*エッジコンピューティング：データの生成元、またはその近辺においてデータ処理を容易に行なうコンピューティング手法

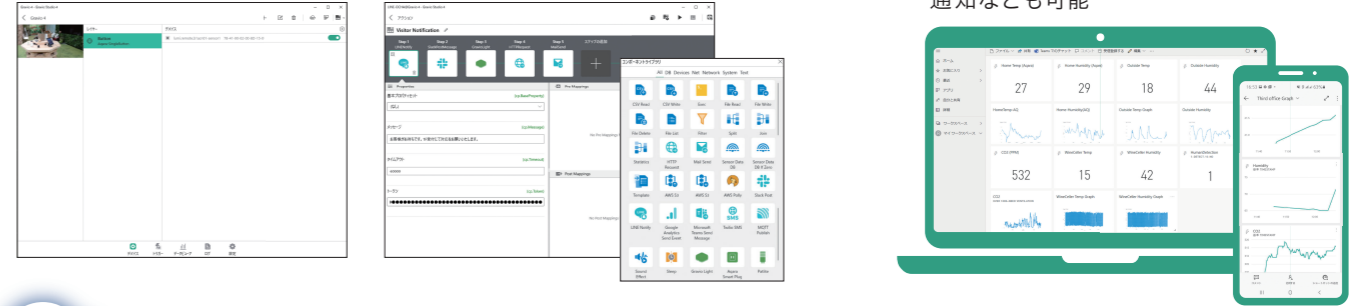
## システム概要



## 簡単なアクション設定

## ノーコードで気軽に操作可能

- 1 センサーを登録し、データ収集を開始
- 2 機器制御やデータ出力といったアウトプット方法を直感的な操作画面にてノーコードで設定
- 3 お客様ご利用のシステムやBIツールでデータ表示可能  
警告灯の制御やメッセージアプリによる通知なども可能

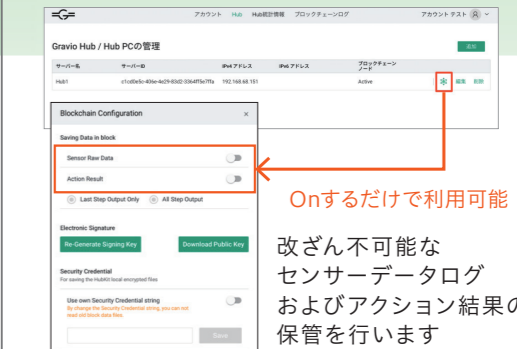


## Gravio Hubの機能強化

Gravio Hubに内蔵されたエッジでの画像推論機能を更に活用するために、TensorFlowを採用。お客様が作成された学習モデルの利用が可能です。また、外部TPUアクセラレーターにも対応し、更に高速な推論を実現します。

## ブロックチェーンを活用したログの保存

それぞれのGravio Hub上でブロックチェーンノードを有効化するだけで自動的にブロックチェーンによる相互接続とデータログやアクション実行ログの保護を実行。



Onするだけで利用可能

改ざん不可能なセンサーデータログおよびアクション結果の保管を行います

## 標準搭載AI

### 人数検知機能 (三密回避)



## 標準搭載AI活用例



撮影画像を元にGravioが人数検知し数値データとして保存。自動転送してウェブサイトへ待合人数をリアルタイムに開示。

## AI Edition

## Enterpriseバージョンの画像推論機能を更に強化

### 顔認識・人物検知機能

- ・VIPや来客者検出
- ・不審人物検出
- ・非登録人物検出
- ・服装の色
- ・性別
- ・年齢層
- ・マスク、メガネの着用有無

### 人の動き検出機能

- ・入退室人数
- ・通過人数
- ・侵入検知
- ・移動方向間違い
- ・不審なうろつき

### 車両検知機能

- ・車種 (二輪、四輪、大型)
- ・通過台数
- ・進行方向の検知

